

## 理事会・総会の開催

6月28日理事会と総会を開催しました。総会終了後には、「皆様の力に支えられてきた日本ハビタット協会の歩み」として、いつも、日本ハビタット協会の活動を、いつも支えてくださるボランティアの皆様との交流が行われました。



## ハビタットフレンズ ネットワーク発足会

6月29日には、全国で主に空港募金の回収を行ってくださっているボランティアさんを中心にハビタットフレンズのネットワークが発足しました。ハビタットフレンズの詳しい活動は、年に二回のハビタットフレンズ通信でご報告致します！

## 事務所移転のお知らせ

この度、事務所が移転しました。新しい事務所の住所は以下の通りです。

**新住所** 〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-12 藤和半蔵門コープ 103号



## ハビタットクイズ?!

コインやお札にはその国の動物や植物などの特徴が描かれているよ！  
図柄から国名を当ててみよう！  
(図柄と国名を線で結んで答えてね。)



桜

マレーシア



ヤシ

ラオス



カエデ

カナダ



コーヒーノキ

イラク



ハイビスカス

日本

## ご協力いただきありがとうございます

みなさまのご支援ご協力により、多くの国と地域において、まちづくり事業を実施することができています。心から感謝申し上げます。

2018年11月～2019年7月1日(敬称略・順不同)

**ご寄附** 国際ソロプチミスト熊本一さくら・宮崎・長崎ガーランド・北九州一南・八代・佐賀一東部・熊本一わかば、濱口吉右衛門、山本隆一、山口実知子、池端直亮、三浦教子、丸井聡、六波羅昭、中村幸子、川上五郎、石原信雄、丹羽浩康、郷古実、山前隆、(有)岩田時計店、山際則子、住友商事(株)、ハート薬局、藤岡美千代、樋口謙一郎、堀寛紀・保子、土屋嘉克、高橋香澄、中井禮子、大隅道子、成田国際空港(株)、中村勇、川畑博敏、高橋愛子、水口喜美子、岡田耕造、塩野谷住雄、丹波佐和子、谷口せい子、鎌滝たみ子、AOKI、鬼頭猛、澤渡好子、末次憲二、篠原大作、新井てつお、兼平剛志、福迫隆、原田義信、平井功、勝又宏幸、秋本敏文、藤本貴也、福田一彦、森多賀子、松本正子、カーパーツマルサ、(株)ジェシービー、東京国際空港ターミナル(株)、新千歳空港ターミナルビルディング(株)、中部国際空港(株)、関西国際空港(株)、福岡空港ビルディング(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、熊本空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)、珈琲店ストーンズ、鶴切順子、倉山 紗代子、伊木常昭、ワキタマサトシ

**ご協力いただいた方及び団体** 国連ハビタット福岡本部、国連ハビタット福岡本部協力委員会、福岡県、東京福岡県人会、千代田区社会福祉協議会、ちよだボランティアセンター、地球環境基金、Smile for Japan、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、(一財)シルクセンター国際貿易観光会館、こどもの夢ネットワーク、(社)日本フィランソロピー協会、(株)エッチアールディ、シャンドウミュージエ、ニューサンノー、(株)新橋スタンプ商会、半蔵門駅前郵便局、(特非)JSOS子どもの村JAPAN、アジアの女性と子どもネットワーク、中嶋健治、樋口謙一郎、今井杏奈、齋藤謙、花島光男、塚越勝美、長谷川隆徳、小泉邦夫、白浜靖彦、平良サキ子、佐藤昭二、丹波佐和子、加藤弘子、藤村美保、小野雅恵、林富子、堤優子、小方辰子、山際則子、菊地澄子、小家進、野崎美知子、吉野和子、大島政子、岡部晃子、三島康雄、佐藤和恵、藤岡美千代、錦織葆、中村麻子、宮本知枝、平岡宏一、佐藤美華、ハビタットフレンズの皆様

**コインわけにご協力いただいた企業・学校** (株)ジェシービー、ザ・ボディショップ、東日本積水工業(株)、三菱UFJ銀行、逗子市交流センター、(株)アイ・コミュニケーションズ、相馬市中村第一中学校

**募金箱設置にご協力いただいた企業等** 成田国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、新千歳空港ターミナルビルディング(株)、中部国際空港(株)、関西国際空港(株)、逗子市交流センター、福岡空港ビルディング(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、熊本空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)、(有)岩田時計店、珈琲店ストーンズ、AOKI

ご協力いただいた企業・学校・団体へのご報告は、ハビタットフレンズ通信でご報告いたします。

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会(発行責任 篠原大作／編集責任 山本博子)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-12 藤和半蔵門コープ 103号 TEL／FAX：03-3512-0355  
E-mail：info@habitat.or.jp／URL：https://www.habitat.or.jp

2019年7月発行



JAPAN HABITAT ASSOCIATION

HABITAT 日本ハビタット協会

# まちづくり通信 No. 35

日本ハビタット協会は、国連ハビタットと共に世界中の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています

## 「SDGs はみんなのゴール」シンポジウムの開催



SDGs と世界的課題に対する市民一人ひとりの関心を高めるとともに、ハビタットが目指す持続可能なまちづくりへの理解を深めるため、2019年3月3日、JICA 地球ひろば国際会議場において、シンポジウム「SDGs はみんなのゴール」を開催しました。

特別講演として、元国連事務次長の明石康氏が、「国連の険しい歩みと持続可能な世界」をテーマに、国連のこれまでの歩みと多様化する世界的課題の解決による持続可能な世界の展望について講演を行いました。

トークセッションでは、マリ・クリスティーヌ副会長がファシリテーターを務め、パネリストとして、国連ハビタット福岡本部長の是澤優氏、独立行政法人環境再生保全機構の崎枝京子氏、当協会の太田祥歌が、それぞれの立場から SDGs に対する取り組みについて発言し、活発な意見交換を行いました。



## 2018年度 事業報告 ..みなさまのご協力に感謝申し上げます..



日本ハビタット協会は、国連ハビタット(人間居住計画)とともに、悪化した居住環境を改善し、世界中の人々が安心して安全に暮らせるまちづくりを実施しています。2018年度は、皆様のおかげで下記の事業を実施することができました。



6 スマイルトイレプロジェクト



15 環境教育プロジェクト



2 1日3食プロジェクト



4 教科書プロジェクト



17 パートナースhipを活かした災害復興支援

これらの事業は、2019 年度も継続して取り組んでいきます。  
引き続き、ご支援よろしくお願いいたします。





## ケニア スマイルトイレプロジェクト

清潔なトイレは、貧困の削減、健康、教育機会の提供、女性の社会参画につながる「まちづくりの特効薬」です。日本ハビタット協会は、2016年からトイレ建設によるより良いまちづくり事業「スマイルトイレプロジェクト」を実施しています。2018年度は5つの村で実施し、各家庭にトイレと石鹸付きの手洗い場の設置を行いました。

**事業前** 約23%の家にトイレがなく、手洗い場がない家は74%

**事業後** トイレがない世帯は12%に下がり、その内の半数近くが現在建設中

**さらに！** 乳幼児の死亡率の削減 学校の出席率の向上

女性がコミュニティ活動に参加 などの地域発展につながりました！



★スマイルトイレ プロジェクト 動画★ 日本ハビタット協会のHPにて配信 <https://www.habitat.or.jp>



## 女性のエンパワメントとトイレ

マリ クリスティヌ

先日、ケニアから新しくできたトイレを誇らしげにしている女性たちの映像が送られてきました。これを見て、スマイルトイレプロジェクトがケニアの女性および女児のエンパワメントに繋がっていて、SDGsの目標5「ジェンダー平等を達成し、全ての女性および女児の能力強化を行う」の達成にも貢献できているということを実感しています。

排泄は、健康の基本であり、生きていく上で大変重要なものです。しかし、なぜか「不浄として遠ざけられ、国際協力の中でも後回しにされてきました。その結果、いまだに世界人口の3人に1人がトイレにアクセスできず、野外排泄をする人は9億人以上といわれています。日常的な野外排泄は、女性の性暴力の被害や、不衛生な環境による下痢性疾患で子どもが命を落とすことにもつながり、そのための医療費が生活をさらに圧迫するという負の連鎖が起きてしまいます。生理中の女性たちのことも大きな課題です。

日本ハビタット協会がスマイルトイレプロジェクトを開始したのは3年前からです。この間、女性たちがより安全に、より清潔に暮らせるようにと願い、床をコンクリートで作ったり、トイレにふたを付けてみたりと、様々な試行錯誤を繰り返してきました。企業が開発したSATOパンという排泄物を少量の水で処理し、清潔を保つことができる便器が安価で手に入るようになったことと、手洗いタンクの設置で状況がかなり良くなっていることは本当に嬉しい限りです。



## できました! スマイルトイレゲーム

スマイルトイレプロジェクトを体験し、トイレの大切さやSDGsのゴール6について学べるすごろくゲームを開発しました。これまで、国際協力イベントや学校、ボランティア講座などで実施し、多くの皆さんにご参加いただきました。



★スマイルトイレゲームを活用した出張ワークショップ実施中!★ 詳しくは、事務局までお問い合わせください。



参加者の声

早くゴールすれば良いという訳でもなく、すごろくが進まなくても、マイペースで自分のペースを良くしているような感覚が最後まであったので、飽きずに進められた。

1つのトイレを作る大変さがわかったし、トイレができた時の達成感があった。

SDGsのゴール6が他のいろいろなゴールにも結び付いているのがわかった。



## ラオス 環境教育・環境保全事業

ラオスでは環境に配慮したまちづくりを目指し、2つのポイントを重視した事業を展開しています。

- 1 住民たちが自ら自然環境を守りながら、生活を向上していくことができる技術指導
- 2 将来のまちづくりの担い手である子どもたちが、環境の大切さを学ぶことができる教育



2018年度は、ラオス国内の2つの県で、大学や農業局と協力し事業を実施しました。

ルアンパバン県

「植林」をテーマにルアンパバン農業大学の教員、学生34名と教材を開発しました。中学校2校で4回ワークショップを実施し、4年生128名が参加しました。



セニャブリー県

中学校2校で環境に配慮した農業の技術指導を実施し、生徒92名、教員4名が参加しました。2村20名の村人が、自分たちで植林が行えるよう株の増殖技術指導を受けました。



## 大阪マラソンチャリティ事業

ラオスの「子どもの生活環境改善事業(教科書プロジェクト・1日3食プロジェクト)」が、12月1日に行われる第9回大阪マラソンのチャリティ事業として選出されました。子どもたちの教育環境を良くし、未来の選択肢を広げるためにも、チャリティランナーや協賛企業の皆様と一緒に、活動を進めています！

今回の大阪マラソンを通して…

ルアンパバン県の小学校に1,000冊のラオス語の教科書を届けます！

中学校2校に給食となる200羽の鶏、アヒルを提供し、教員の技術トレーニングを行います！



## 日本 パートナシップを活かした災害支援

西日本豪雨支援

倉敷市男女共同参画課、教育委員会と協力して、市内の避難所等に支援物資を届けました。

北海道地震支援

厚真町において、NPO法人ezorockと協力して、農業支援と子どもの居場所づくり事業を2019年4月から開始しました。厚真町で生産される野菜を町民の手により、災害時にも役立つ乾燥野菜に加工し、販売しながら、コミュニティの結束を強め、地域を活性化させていきます。また、厚真町教育委員会と協力して、親子で参加できる自由な遊び場「Play Park」を定期的に提供することで家族全体の心のケアにつなげていきます。

- 女性用と子ども用の下着等 … 計400着
- ライト付き防犯ブザー … 200個
- フリース素材のブランケット … 300枚 (大和証券から寄贈)
- 被災した小学校にドッジボール等の遊具 (「中学生たちによる復興応援!チャリティリレーマラソン」プログラムからのご寄付)



復興の桑プロジェクト

桑産業により東日本大震災により疲弊した農業とコミュニティの再活性化を目指す「復興の桑プロジェクト」を2012年5月より実施しています。このプロジェクトを通して、宮城県内の子ども、特に親のケアを受けられない子どもの自立支援を行っています。

宮城県内の子どもの支援を行っている「こどもの夢ネットワーク」と協力して、児童福祉施設で暮らす高校生らが、KUWA CHOCOの商品ラッピング作業等を行いました。また、大学生たちが、藤崎百貨店のバレンタイン催事で店頭販売を行う等、こどもや若者が社会経験を積み、社会と触れ合う良い機会となりました。この自立支援事業は、河北新報や毎日新聞で取り上げられました。

KUWA CHOCO  
来年もよろしく  
お願いします。

